

ウォーキング

旧伊勢鉄道跡と高田本山専修寺

令和5年6月10日（土）

1. ルート 近鉄高田本山駅～旧伊勢鉄道跡～高田本山専修寺～伊勢別街道～江戸橋駅～伊勢街道～津偕楽公園～近鉄津駅
9.5 km (12,000 歩)
2. 参加者 伊藤利男・伊橋健治・喜吉 雄・高木 勉・谷口文夫・伝田 貢
中村 衛・中村軍志・福本 泉・濱田 一
10 名
3. ドキュメント

9時40分近鉄高田本山駅に集合。初参加の谷口さんの紹介とあいさつを受けて歩き始める。梅雨入りの情報があつてから雨続きで今日の実施を案じられたけれどもどうにか一日傘をささずに持ちそうだとの予報を信じて歩く。専修寺に向かう道を進んですぐに右に曲がって志登茂川の堤防に出ると川中にレンガ造りの橋脚が見える。これが旧伊勢電気鉄道の遺跡かと気付く。元の道に戻る田んぼ道の中にも橋脚が残っていた。この位置は現近鉄の高田本山駅と白塚駅の間に当たる。



志登茂川のレンガ造りの橋脚



田んぼの中の橋脚

旧伊勢電気鉄道

大正年代から昭和初期に四日市から伊勢までの間を運行していた鉄道で集落を避けて造られたため、曲がりの多い路線であったらしい。しかし、桑名までの延長や木曾三川に鉄橋を造ろうとしたことなどで経営が破綻し廃線となったとのことである。現在の伊勢鉄道、近鉄とは全く関係はないとされている。

赤い橋を渡ると一身田の町に入る。古くから参拝客で賑わい栄えた門前町である。10分ほど歩くと高田本山専修寺の門前に辿り着く。正面の山門から入らずに東側に位置する太鼓門から入る。このお寺は浄土真宗高田派の本山で主な建築物は「御影堂」と「如来堂」で国宝である。御影堂は1666年の建築で親鸞聖人を祀り、国宝木造建築物で全国5番目に巨大なお堂であり、如来堂は快慶作の阿弥陀如来立像が安置されている。境内をゆっくりと拝見してお参りするとなぜかすっきりした気持ちになった。



一身田町東口の栄橋



大伽藍御影堂



専修寺太鼓門



如来堂



山門



如来堂前のハス



境内の休憩所で一休み

専修寺を後にして寺内町を抜けると伊勢別街道に突き当たる。左にコースを取り江戸橋方面に歩く。伊勢別街道【亀山から津までの街道で京都や北陸からの参宮に利用された】三キロ程歩いたところに江戸橋があり、伊勢街道と合流する。橋の袂には高さ5.4mにも及ぶ常夜灯と高田本山道と書かれた道標が残っている。



江戸橋の常夜灯と道標



新しい標識



偕楽公園で可愛いお子様と記念撮影

江戸橋から伊勢街道をしばらく歩くと津駅の東口に到達する。西口との連絡通路を潜って偕楽公園に着いたのは丁度12時であった。

少し蒸し暑かったけれども雨にも降られず全員快調に歩くことが出来、ほっとして弁当を開く。駅前で調達した冷えたビールで乾杯！芝の上で飲むビールはまた格別に美味しい。一時間ほどの昼食時間を過ごして池に架かる橋の上で散歩中のお子さんも一緒にパチリ・・・楽しいひと時・・・公園に展示されているSLを見学して津駅から帰路に就く。



公園に展示されているD51を観る